

# 東北支部 設備女子会 31日発足

建築設備技術者協会(JABMEE)東北支部(黒澤正志支部長)は31日、建築設備業界で働く女性らでつくる同支部設備女子会を発足させる。建設業界の女性の活躍を推進するため、行政機関などによるさまざまな施策が進められる中、建築設備業に携わる東北の職能団体である同支部が、「設備女子」特有の悩みや課題を解決する取り組みを本格化させる。同支部女子会の設置を前に、黒澤支部長と庄司恒久事務局長、秋山悦子準備委員会代表に設立の目的や展望などを聞いた。

## JABMEE

## つながり、交流の場に



左から秋山代表、黒澤支部長、庄司事務局長

れから行う初会合で、単独や合同問わず見学会、交流会などさまざまな活動内容について議論してもらう。経費や技術的にも全面的にバックアップしていく。気軽に自由に検討・提案してもらいたい」と支援に意欲を示す。

また、「より多くの女性につながりを持ってほしい」との思いから「協会員以外でも、建築設備に興味があり、女子会への入会を希望する方はどなたでも対象としている」と門戸を開放する構えだ。

庄司事務局長は、「設備業界で活躍する女性職員総数が増えていると実感している

が、女性職員が通常の会合に参加しづらい環境もあり、実際の人数や業務内容などの実態を把握できていない状況にある。女性が働きやすい職場環境を整える上で、実態を把握することは大きな一歩につながる」と語った。

秋山代表は「建築設備に携わる女性技術者は、業界で長く働いていても、事務所から出ることが少ないため、女性技術者同士が知り合う機会がほとんどない。まずは、同じ東北で働く仲間として、女性同士の交流の場にしてほしい」と述べた。その上で、「女性が自分はエンジニアだと自信を持っていけるように、切磋琢磨(せつさたくま)していきたい」と期待を寄せる。

仙台市内で開く初会合となる第1回交流会では、会の代表を選定するとともに、活動内容の枠組みを決めていくところからスタートする予定だ。

今回の東北支部の設置により、設備女子会は全国の計8支部で設置することになる。同協会を始めとする建築設備六団体協議会などをつくる設備女子支援ネットワークなどを通じて、設備団体が横軸で連携し、設備女子のPRや地位向上などにつなげていく。

黒澤支部長は「建築設備技術者は、建築を支える縁の下力持的存在であり、女性技術者の情報交換・発信・活躍の場を設けることが狙いだ。2012年11月の建築設備士の日、本部で設備女子会が発足した。以降、当支部でも準備委員会を設けて、設置に向けて準備を進めてきた」と

設立の経緯を語り、その上で「結婚や子育てについての悩みなど、情報交換を気軽に行える場を用意するとともに、積極的にPRすることによって経営・管理者や男性に理解してもらい、現場環境の改善のきっかけにしていきたい」と強調する。

会の活動に当たっては「こ

## JABMEE東北の設備女子会が初会合



## 親睦深め活躍の機運醸成

建築設備技術者協会(JABMEE)東北支部(黒澤正志支部長)は8月31日、建築設備関連業務に従事する女性技術者などで構成する同支部設備女子会を設置し、仙台市内で第1回交流会を開いた。写真。委員長に秋山悦子準備委員会代表を選定したほか、今後の活動内容を議論するとともに、親睦を深めながら女性の活躍推進に向けた機運を高めた。

会合には、秋山委員長を始め、設備工事業や設備設計事務所などに勤務する女性技術者約10人が出席。メインとなる運営や活動方針についてメンバーからは、「誰でも参加しやすいように、堅苦しい会にはしたくない」「東北の広いエリアでも、会員が密に連携できるようにしたい」「ほかの現場を見学してみたい」などの意見が相次いだ。このほか、お互いのワーク

スタイルについて情報交換しつつ、「職場に女性の先輩が少ないため、ステップアップや結婚後など、3年先の自分の姿が見えてこない」「結婚して扶養から外れた場合、同じ仕事をしていても手当が少なくなる」など女性特有の悩みを打ち明けた。

秋山委員長は、「女性が働きやすい環境をつくってほしい。そのために、積極的に協力してほしい」と呼び掛けた。

設備女子会は今回の東北支部の設置により、全国の計8支部すべてで立ち上がった。今後、同協会を始めとする建築設備六団体協議会などでつくる設備女子支援ネットワークを通じて、各設備団体が横軸で連携し、設備女子会のPRや活動を積極的に後押しするとともに、設備業界全体の認知度と地位向上につなげていく考えだ。